



# 国際的な水銀削減への 我が国及び世界の市民団体の取組

2010年12月16日  
化学物質問題市民研究会  
安間 武

<http://www.ne.jp/asahi/kagaku/pico/>

# 化学物質問題市民研究会

設立: 1997年10月1日

代表: 藤原寿和

スタッフ: 7人

会員数: 約500人

事務所: 〒136-0071 東京都江東区亀戸 7-10-1 Zビル 4階

TEL/FAX: 03-5836-4358

e-mail: syasuma@tc4.so-net.ne.jp

website: <http://www.ne.jp/asahi/kagaku/pico/>

ミッション:

化学物質問題に関する情報発信と政策の監視・提言

人の健康と環境を有害な化学物質から守るために、市民に情報を提供し、予防原則と環境正義、ノーデータ・ノーマーケット原則に基づいた政策や意見を国や自治体に提言すること

# 国際的な水銀削減のための 国連環境計画(UNEP)の取り組み

## 管理理事会 : Governing Council (GC)

2001年 GC21(第21回管理理事会):世界水銀アセスメント開発を決定

2003年 GC22:水銀汚染に取り組む国々への技術支援と能力構築活動

2005年 GC23:国家、地域、世界行動及びパートナーシップ・プログラム立ち上げ

2007年 GC24:自主的又は法的拘束力のある文書の選択を見直の実施

2009年 GC25: 2013年第までに水銀に関する法的拘束力のある文書を策定  
その準備のために5回の政府間交渉委員会(INC)を開催  
この会議でNGOsの参加が認められた！

# 水銀問題に取り組む国際NGOs

## ■ゼロ・マーキュリー・ワーキング・グループ(ZMWG)

The Zero Mercury Working Group (ZMWG)

世界45カ国からの90以上の環境団体の水銀に特化した国際的連合体  
EEB, MPP, Ban Toxics!, NRDC,...

## ■国際POPs廃絶ネットワーク(IPEN)

The International POPs Elimination Network (IPEN)

世界100カ国以上700以上の環境団体の国際的連合体  
様々なWGがあるが、水銀については Heavy Metal WG

## ■ヘルス・ケア・ウィズアウト・ハーム(HCWH)

Health Care Without Harm (HCWH)

世界50カ国以上473の医療分野従事者団体の国際的連合体

## ■脱焼却グローバル連合(GAIA)

The Global Anti Incineration Alliance (GAIA)

世界 80 カ国以上、600 以上の環境団体の国際的連合体

## ■歯科アマルガム、先住民の団体など

# 国際NGOsの 水銀問題への取り組み

## 国際NGOsの主要な活動

- 水銀削減キャンペーン
  - ・ZMWG ゼロ・マーキュリー・キャンペーン
  - ・IPEN 世界水銀フリー・キャンペーン
- UNEP水銀関連会議への参加と発言
- 世界水銀条約への提案
  - ・ZMWGが提案する部分的概念テキスト(2010年3月)
  - ・世界水銀条約に関するIPENの見解(2010年2月)
- 水銀パートナーシップ・プログラムへの参加とコメント
  - ・小規模金採鉱における水銀管理
  - ・塩素－アルカリ産業分野の水銀削減
  - ・水銀の大気中輸送及び運命の研究
  - ・水銀廃棄物管理(日本がリード)
  - ・石炭燃焼からの水銀抑制
  - ・製品中の水銀削減
  - ・水銀供給と保管



# UNEP 水銀に関する政府間交渉委員会第1回会合(INC1) 2010年6月7～11日 スtockホルム

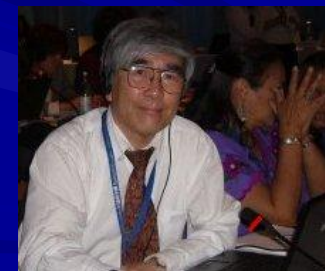


参加: 119カ国の政府及びWHO、バーゼル条約事務局などの国際機関

NGO参加: 約29カ国から 55団体の代表54人

NGOの発言: 約20回

当研究会も日本政府の“**水俣条約**”命名提案に対して発言



# INC1における日本政府の 水俣条約命名提案へのNGOsの意見

- ある人々は、“日本は現在行なっている水銀輸出をやめ、水俣の全ての被害者を救済し、水俣問題の責任を全うするまで、水俣条約を提案する資格はない”と主張した。
- 一方、ある人々は、“条約に水俣の被害者らを思い起こさせる名前を付けるなら、将来の世代が水銀汚染に曝露することを防止し、最小とする、真に水俣の被害者らを敬うことができる強い水銀条約にシなくてはならない”と述べた。
- 日本政府は水俣から何を学んだのか？

# UNEP 水銀に関する政府間交渉委員会第1回会合(INC1) 2010年6月7～11日 スtockホルム

## NGOのアクション

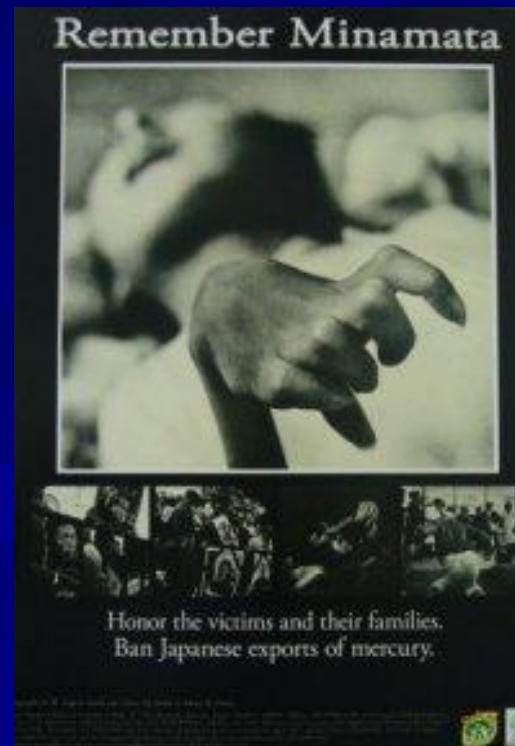
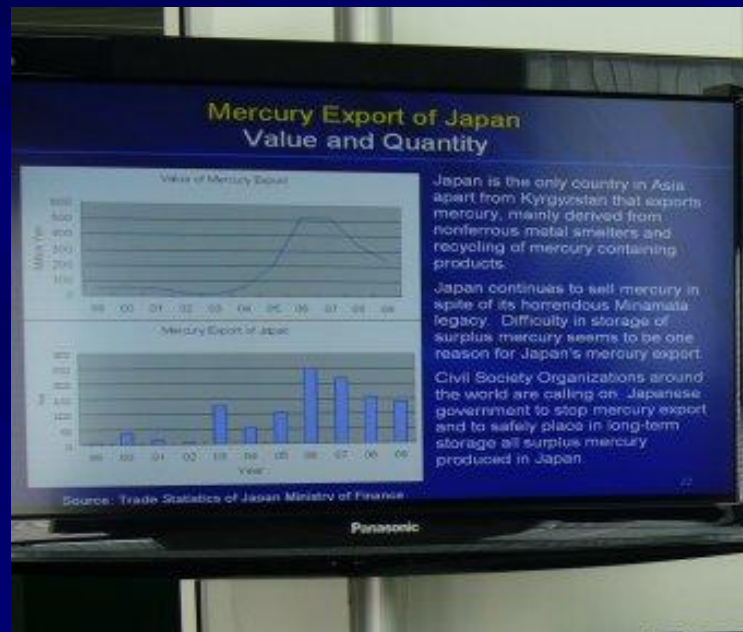


- ✓ ZMWGは、水銀濃度分析計 Lumex のデモを行なった。
- ✓ IPENのフィッシュ・アクションでは水銀汚染？魚のカナッペを政府代表者らに振舞った。
- ✓ IPENとスウェーデンSSNC は、参加者の毛髪水銀濃度テストを行い、後で報告書を作成した。



# UNEP 水銀に関する政府間交渉委員会第1回会合(INC1) 2010年6月7～11日 スtockホルム

## 当研究会の出展



パワーポイントを上映  
Minamata and Mercury Issues  
in Japan

ポスターの展示  
Remember  
Minamata

チラシ  
JAPAN'S MINAMATA  
LEGACY AND THE NEED  
TO BAN ITS HG EXPORT

# 日本のNGOによる 水銀問題への取り組み

## ■水俣病関連問題への取り組み

- 被害者団体／支援団体による認定要求、補償要求、国・県・企業の責任追及など、患者自らの戦いと支援・救済活動の長い戦いの歴史がある。

## ■世界水銀削減のための取り組み

- NGOの取り組みは数年前から。  
（当研究会の活動は2008年から）
- 一般市民の関心はまだ低い。
- メディアも、あまり取り上げてこなかった。

# 国際的な水銀削減に取り組む日本のNGOs

## 1. 化学物質系NGOs

- 化学物質問題市民研究会
- 有害化学物質削減ネットワーク(Tウオッチ)
- ...

## 2. 水俣病関連NGOs

- グリーン・アクション(水俣問題／エネルギー関連)
- 支援者団体／被害者団体の一部



日本は水俣を経験しているのに、国際舞台で水銀規制導入に指導力を発揮しておらず、国内でも水銀削減運動を展開していない”(米MPP マイケル・ベンダー さん)

熊本日日新聞(2009年2月15日)

日本政府に向けた言葉であるが、日本のNGOにも、メディアにも当てはまる。

しかし、12月4日のNGO国際水銀シンポジウムには、NGO 59団体の賛同と、160人の参加を得た...



# 2010年12月4日 化学物質問題市民研究会主催 NGO国際水銀シンポジウム

## 第1部 水俣から学ぶ

水俣病被害者(佐藤さんご夫妻)／支援者(谷洋一さん)／原田正純先生

## 第2部 世界の水銀問題

ジョー・ディガンギ(米)博士(IPEN)

リチャード・グティエレス(比)さん(バン・トクシックス！)



賛同:59団体、シンポジウム参加者:160人

2009年9月26日  
有害化学物質削減ネットワーク主催  
国際市民セミナー  
国際的な水銀規制をどう進めて行くのか  
日本とアジアの取り組み



パネルディスカッション(左から)

中下裕子さん(ダイオキシン・環境ホルモン対策国民会議)  
リチャード・グティエレスさん(Ban Toxics!/フィリピン)  
安間 武(化学物質問題市民研究会)  
貴田晶子さん(国立環境研究所特別客員研究員)  
関谷毅史さん(環境省環境安全課課長補佐)  
中地重晴さん(有害化学物質削減ネットワーク)



# 賛同団体署名付き市民団体共同声明 日本政府に提出

2009 年 10 月 15 日

内閣総理大臣 鳩山由紀夫 殿  
外務大臣 岡田克也 殿  
環境大臣 小沢鋭仁 殿

## 市民団体共同声明 日本政府に水銀輸出禁止法の制定を求める

私たち世界中の水銀汚染を懸念する市民団体・非政府組織（NGOs）は、日本政府に対し早急に水銀輸出禁止法を制定するよう求めます。

1. 「水銀輸出禁止法」を早急に制定すること
2. 回収水銀等、国内で発生する余剰水銀を国内で安全に永久保管すること
3. 水銀削減／輸出禁止／永久保管に国際的なリーダーシップを発揮すること

賛同団体：国内54、海外60

# アジア水銀保管プロジェクト・ワークショップ

2009年3月4～5日にバンコク

UNEP / ZMWG主催

アジア水銀保管プロジェクト・ワークショップ

アジアのほとんどの主要国(16ヶ国)と米国の計17ヶ国

NGOs アジア6団体、米1団体（日本からは化学物質問題市民研究会）

国際機関、コンサルタント会社、米国防総省



## 狙い

水銀輸出禁止にともなう  
余剰水銀を封じ込めて  
市場への水銀供給を止める  
長期水銀保管施設建設の  
ためのプロジェクト立ち上げ

# UNEP水銀パートナーシップ 第2回廃棄物管理分野会合

2010年3月9～10日東京

**参加者:** 米国、ドイツ、中国、インド等12カ国の政府担当者、国際機関、専門家及びNGO(2団体)、当研究会はZMWGを代表して参加

## UNEP水銀パートナーシップ

- 小規模金採鉱における水銀管理
- 石炭燃焼からの水銀抑制
- 塩素－アルカリ産業分野の水銀削減
- 製品中の水銀削減
- 水銀の大気中輸送及び運命の研究
- **水銀廃棄物管理(日本がリード)**
- 水銀供給と保管



## 水銀供給削減の主要な措置について当研究会が発言

- 新たな一次水銀採鉱の禁止及び既存水銀鉱山の廃止
- 水銀輸出禁止
- 余剰水銀の長期保管

# UNEP 水銀に関する政府間交渉委員会第2回会合(INC2) 2011年1月24～28日 幕張 に向けての当研究会の取り組み

## ■INC2における国際NGOのキーワードのひとつ:

水俣に敬意を払い、水俣から学び、強い水銀条約とする

## ■日本国内でのINC2に向けてのプロジェクト

(EEB/ZMWG とIPENの支援)

- 報告書「水俣と水銀条約」: 国内／海外に紹介(日本語版、英語版)
- 水俣関係者との交流／情報交換: 水俣訪問(9/13-15)、東京での集会に参加
- 12月4日: NGO水銀シンポジウム(東京): 水俣関係者、国際的NGOを招聘
- 1月23日: 幕張サイドイベント: 水俣関係者発表
- 1月24日: INC2 本会議初日: 水俣被害者の発言を計画中
- 1月24-28日: 写真展“MINAMTA: アイリーン・アーカイブ(会議場NGOブース)



ご清聴ありがとうございました



化学物質問題市民研究会

<http://www.ne.jp/asahi/kagaku/pico/>